

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 7月28日更新

事務事業名		人権同和教育集会所維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	森田 健二
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	高野 和子
	施策の柱	43	人権尊重についての理解と相談体制の充実			所属班	啓発教育班	(内線)	5334
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 4	事業連番 10867	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 53 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	人権・同和教育の拠点として設置した人権同和教育集会所の維持管理事業である。地域における同和教育事業を推進するため、同和対策事業の一環として旧対象地区に建設した。建設年度は、地域によって異なっている。対象集会所は元々7ヶ所であったが、平成23年度に二子上集会所は、利用者の減少と老朽化により解体工事を行った。教育集会所 6ヶ所 日向集会所、新迫集会所、新古閑集会所、原口下集会所、立割集会所、生坪集会所 なお、新迫集会所は、平成3年4月に火災により燃失し、現在の建物は平成3年10月に新築したものである。また、原口下集会所は、道路用地にかかったため平成2年1月に新築されたものである。 各地区の高齢化が進み、集会所事業や地域活動が停滞している。
【業務の流れ】	①年度初めに該当区の区長と各集会所の管理委託契約を結ぶ。②修繕業務。③毎月の光熱水費等の支払い。
【主な予算費目】	需用費、役員費、委託料
【意見や要望】	LPGガスの調整器・警報器等について点検を行った結果、緊急性の高いものから順に交換等の対応を行うべき旨を指摘されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	6集会所の管理委託契約、施設の修繕、毎月の光熱水費の支払いを行い、集会所の適切な維持管理に努めた。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		6集会所所在区長と維持管理を契約し維持管理を委託する。なお、光熱水費の支払いや必要に応じた修繕費・工事請負費の支払いを行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア 委託契約の数		日向区児童広場遊具撤去工事を見込んでいるため工事請負費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
人権同和教育集会所		(単位) ケ所
		→ ア 人権同和教育集会所の数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
良好な施設機能を維持する		(単位) 件
		→ ア 施設維持管理上不具合の報告件数
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
維持管理をしていく上で、施設管理がトラブル等もなく管理運営出来ているかが一番重要である。目標値については、トラブル不具合等がないところでの数値を設定。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	ア 件	イ	6	6	6	6	6	6	6	6	
② 対象指標	ア ケ所	イ	6	6	6	6	6	6	6	6	
③ 成果指標	ア 件	イ	4	1	2	3	2	2	2	2	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	985	939	1,015	962	1,733	1,015	1,015	1,015
		(A) 事業費計	千円	985	939	1,015	962	1,733	1,015	1,015	1,015
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	2	3	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	155	155	150	150	150	150	150	150		
(B) 人件費計	千円	614	611	597	586	597	597	597	597		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,599	1,550	1,612	1,548	2,330	1,612	1,612	1,612		

事務事業名	人権同和教育集会所維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 良好な状態での維持管理を行っていく。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 維持管理受託者との連携強化を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は他にない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の経費のみを計上しており、これ以上の削減の余地なし
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で業務を行っているため、これ以上の削減は見込めない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市のあらゆる差別を無くす取組みの拠点としての教育集会所であるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 集会所の管理については、地元へ委託しており、役割分担として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

おおむね良好な維持管理が出来た。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					